

# 『真光寺川 里親の会』通信

6月号 一通算第111号

2010年6月13日

## カワセミ（川蝉、翡翠）の飛ぶ真光寺川

**カ**ワセミは「町田市の鳥」です。「市民の鳥」はシジュウカラ、メジロ、コゲラ、ウグイスです。全国では20の市が「市の鳥」に指定しています。近くでは日野市、小金井市、神奈川県綾瀬市、藤沢市、山梨県甲府市などです。

真光寺川全域、広袴公園、真光寺公園の池、鶴見川でその姿を見ることができます。また薬師池や境川、恩田川など町田市全域の水辺で観察できます。

姿の美しさから「小鳥の宝石」「溪流の宝石」と呼ばれ、宝石のヒスイはこの鳥の羽の色に由来しているといわれています。真光寺川を散歩しながら、カワセミに出会うと今日はよいことがあるかなと幸せな気分になる。その証拠には小生ばかりでなくカワセミウオッチャーやカワセミカメラマンが多数おり、「カワセミ見た?」「あそこで見たよ」と和やかな会話が弾みます。



まさに小鳥の宝石

**フ**ッポソウ目、カワセミ科、カワセミ類、カワセミ属、カワセミ (A.atthis) で全長17cmの鳥で日本（留鳥としてほぼ全国）、ユーラシア大陸、アフリカ北部、東南アジア、メラネシアの平地から低山の湖沼や河川などに分布しています。カワセミ類は3属、22種が知られ、アフリカ、アジア、オーストラリアに分布しています。チーッ、チーッと鳴きながら飛んでいく。日頃は単独行動でナワバリを時速100kmで飛びます。



魚とりの名人 2匹しとめる!

止まる所は木の枝、川のフェンス、非常梯子などでお気に入りの場所に止まることが多い。止まっている所を見かけたらいつもそこを見てほしい。

くちばしが長く、頭が大きく、首、尾、足は短い。メスは下のくちばしが赤い。また若干雌より雄の方が色鮮やかです。頭、頬、背中が青く、頭は鱗のような模様があります。のど

と耳のあたりが白く、胸と腹と眼の前はオレンジ色。足は赤い。餌を採る時は枝などの上から水中に飛び込み、魚や水生昆虫を嘴で鮮やかに捕らえる。ホバリング（滞空飛行）しながら飛び込むこともあります。繁殖期は3-8月でオスがメスに獲物をプレゼントする「求愛・給餌」が見られます。巣は垂直の土手に50~90cmの横穴を掘り、一番奥に4~7個の卵を産みます。

**平**成14年5月、6月の武相新聞に、境川上鶴間の河川敷で3月から6月まで80日間カワセミの求愛給餌、抱卵孵化、育雛、巣立ち、子育てを観察した貴重な記録が掲載されています。それによると、抱卵は雌雄が交替で各々平均2時間28分。孵化までの期間は20日、育雛期間は25~26日、給餌回数は早朝3時間の観察によると育雛期の前半は7~10回、後半は7~14回とのこと。



オスからメスへ餌のプレゼント

真光寺川のカワセミは真光寺公園の池近くの土手で巣作りをしていると思われます。

(写真：白井精二氏撮影 文：山本隆治記)

## 乗馬クラブ「クレイン東京」から流出する白濁水対策について

数年前からしばしば真光寺川が牛乳を流したように真っ白になり、生態系への影響が心配されていました。さる4月22日、クレイン東京の会議室で、クレイン側の役職員、広袴・真光寺両町内会・地域住民、そして岩瀬市議員と町田市上下水道部・環境保全課が一同に集まり話し合いが行われ、私たちも参加させていただきました。当日は雨の日で馬場から白濁水がどんどん流れ出ているのをまのあたりにしました。クレイン側の説明によると、白濁水は馬場に敷く砂に含まれる物質が原因で、雨が降ると雨水に溶けだし、一定量になると真光寺川に排出される仕組みとなっていました。クレイン側はこれまでも種々対策を講じていましたが、改善が遅々として進んできませんでした。

私たちからは白濁水が川の生態系に影響を与えかねないので放出しないように、又住民側からは市が白濁水の成分分析を行うよう要請し、クレイン側は白濁水が出ない砂への交換、砂を敷いた駐車場の舗装化を約束しました。また町田市は白濁水の検査と、クレイン側の対策実施後のフォロー検査を約束しました。約束が実行されれば一歩前進です。これからも真光寺川に清流を取り戻すために白濁水が流入しないよう見守っていきます。



馬場から流れ出る白濁水を貯める沈殿槽

## 5月12日 鯉の大量死発生！ 広袴調整池のアオコ発生が原因か？

この日早朝から真光寺川を散策する会員や住民から山口会長へ真光寺川の鯉が10匹ほど死んでいると連絡があり、早速市内河川の水質を管理している町田市環境保全課、真光寺川の河川管理者である東京都南多摩東部建設事務所（南東建）と連絡を取り、原因究明と今後の対応について相談をしました。南東建からは、死骸を回収するとともに、専門家に立ち会ってみてもらった結果、鯉ヘルペスではない、他の生息物が死んでいないことから有毒物によるものもないとの回答を得ました。

一方山本会員の調査によると広袴調整池は10日をピークにアオコが大量発生し鯉が水面で息をする姿がみられたことから、アオコの発生による酸欠が原因で大量死が発生し、11日の雨で真光寺川へ流れ出たのではないかと推測しています。今後このようなことが起きないように原因を突き止めて対策を講ずることが大切です。引き続き行政と協議を続けていきたいと思ひます。



アオコの大量発生で行き場を失うパン

### 『めだかポスト』

5月はめだかポストの他一木会寄付を合算して579円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「印字済払込取扱票」をポスト脇のファイルに入れてあります。「赤インク印字の払込取扱票」をご利用頂ければ、手数料無料でお振込みが出来ます。またなるべくATMでの振込みをご利用ください。どうかよろしくお願ひいたします。  
郵便振替 『00150-4-574114』 加入者名 『真光寺川里親の会』

### 5月の清掃報告

5月9日の清掃日は晴天に恵まれ18名が参加、約2時間かけて拾ったゴミ約21袋分。川は雨が少なく藻が繁茂して薄汚れた感じでしたが、魚が気持ちよげに群れで泳いでいました。和光小学校の大野・武田両先生も授業の視察を兼ねながら清掃のお手伝いもいただきました。有難うございます。

### 7月の清掃日は11日（第2日曜日）です。集合：下堰親水場 9:30

この日は市民大学HATSの前期講座「まちだ de エコ・ツアー」の参加者も清掃作業に参加します。一緒に川をきれいにしませんか。どなたでも大歓迎です。

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail [ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp](mailto:ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp)